

公益信託大成建設自然・歴史環境基金助成事業報告会

明日へ！！ 日本の温泉文化の象徴である

木造3階建て温泉旅館の継承を考える

～はじめの一步・群馬県内の木造3階建て温泉旅館の明日へ踏み出す～

NPO 法人 街・建築・文化再生集団理事長 星 和彦

温泉の歴史は、開湯伝説を別として千年以上の時を伝えていると言えるでしょう。露天風呂から始まり、雨露をしのぐ湯小屋ができて、周囲に湯宿が建てられ、やがて温泉街を形成することになります。江戸時代中期頃から湯治や物見遊山としての温泉めぐりが大衆文化の一つとして発展してきました。江戸時代後期には木造3階建て湯宿が出現し、それが、特徴的な温泉街の景観形成に大きな役割を果たしてきたと、私たちは考えています。さらに、明治から大正、昭和にかけて、全国の温泉街に贅を尽くした木造3階建て温泉旅館が出現してきます。現在も数多くの木造3階建て温泉旅館が残され、特徴ある温泉街の歴史を伝えています。しかし、それらの多くは老朽化や耐震性能、安全性等の課題から次世代への継承が難しくなっています。

草津温泉の3階建て湯宿は、十返舎一九の文政三年（1820）に版行した『諸国道中金の草鞋(十三)』の中に、四百軒ばかりの家居のうち四十軒ばかりの3階建ての湯宿があったとの記述があり、文献で確認できる最初であると思われます。また、明治から昭和初期の古写真からは、湯畑の周りに石置き屋根、3階建ての湯宿（旅館）が町並みを形成していたことが読み取れます。古い戯れ歌に「私の心は草津の屋根よ小石小石（恋し）でかわら（瓦）ない」とあるのも、温泉街の景観を良く伝えています。草津温泉の木造3階建て温泉旅館は、現在18棟あり、その内7棟は戦後（昭和27年以降）に建設されたものです。全てが伝統的な景観を持つものではありませんが、1棟は登録有形文化財に登録されています。

現行建築基準法施行以前に建造された木造3階建ては規模・構造の変更等、法の規程に関わらない限りは「既存不適格建築物」として使用できますが、今後の活用を含め、新たな大規模改修にあたっては、法の規制を受けます。また、指定文化財の場合は、建築基準法の適用除外となりますが、改修にあたって、不適格部分について法の規定に準ずる代替措置が求められます。これに適合させるためには、技術的に困難な場合も生じます。

この様な状況の下で、今回の調査は、残された木造3階建て温泉旅館を伝統的な温泉文化・景観のシンボルとして、最良な形で継承するため方策を見いだすことを目的としています。

調査研究は、2015年12月～2016年12月の間、日本建築学会歴史的大規模木造宿泊施設の安全性能確保特別研究委員会のご協力を得ながら、草津以外の温泉地の調査も含め、旅館経営に携わる方々へのヒアリングから、幾つかの地域の事例調査、行政、特に消防関係者からの意見聴取等を行いました。

報告会は、基調報告を、地域遺産プロデューサーの米山さんに頂き、今回の調査担当の小林さんは草津温泉を中心とした調査報告を行い、尾谷さんは弁護士の立場から報告を致します。今回特別に早稲田大学長谷見雄二研究室の上総さんに草津温泉の木造3階建て温泉旅館での具体的な調査研究を発表して頂きます。調査報告の後、ご参加の皆さまとの意見交換会を行います。最終結論に達してはいませんが、報告会は、所有者、識者、利用者の知恵を集めるはじめの一步と考えています。

多くの皆さまのご参加をお待ちしております。

主 催：NPO法人 街・建築・文化再生集団

共 催：工学院大学後藤研究室

後 援：（申請中）草津町教育委員会

報告会スケジュール

1. 日時 平成 29 年 3 月 15 日 (水) ■報告会 : 13:00~16:40 ■交流会 : 18:00~20:30
なお、16 日 (木) 9:30~12:00 まで「草津温泉史跡めぐり」を予定しています。

2. 会場

■報告会 : 草津町公民館 (〒377-1711 草津町草津 4 4 9-2 tel:0279-88-3619)

■交流会 : ホテル櫻井 (〒377-1711 草津町草津 4 6 5-4 tel:0279-88-3211)

3. プログラム

■報告会

12:30~13:00 開場・受付

13:00~13:10 開会挨拶 中村 武 (NPO 法人 街・建築・文化再生集団副理事長)

来賓挨拶 新宮 清志 (日本大学名誉教授・総合資格特別顧問・日本建築学会歴史的
大規模木造宿泊施設の安全性能確保特別研究委員会委員長)

13:20~14:00 基調報告 「歴史的温泉町の輝き」

米山 淳一 (地域遺産プロデューサー・公益社団法人横浜歴史資産調査会常務理事)
(休憩)

14:10~14:40 調査報告① 「木造 3 階建て旅館の文化的意味、草津温泉の木造旅館の概要及びヒ
アリング報告」

小林 直弘 (工学院大学後藤研究室助教)

14:40~15:10 調査報告② 「歴史的木造旅館の保存・活用における防災計画の研究ー草津温泉旅
館に対するケーススタディー」

上総 浩子 (早稲田大学長谷見雄二研究室)
(休憩)

15:20~15:50 調査報告③ 「その他条例と木造 3 階建て旅館への適用」

尾谷 恒治 (弁護士・日本建築学会歴史的な大規模木造宿泊施設の安全性能確保特別研
究委員会)

15:50~16:30 質疑・意見交換

コーディネーター : 小林 直弘

16:30~16:40 閉会

■交流会

18:00~20:30

4. 参加方法・参加費

3 月 7 日 (火) までに、E-mail、Fax、郵送にて「参加申込み」をお送り下さい。

■報告会 : 会場にお越し下さい。参加費は無料です。

■交流会 : 参加費は 7,500 円 (飲食共)、会場でお支払い下さい。

ホテル櫻井に宿泊の場合、交流会費共で 10,374 円となります。なお、宿泊所として木造
3 階建旅館のご紹介も可能ですので、下記問合せ先までご連絡下さい。

5. 問い合わせ先

NPO 法人 **街・建築・文化再生集団** (略称 RAC)

〒371-0035 前橋市岩神町二丁目 7-5 RAC 前橋事務所 担当 : 中村 武

TEL 027-210-2066 FAX 027-235-0643 e-mail act@npo-rac.org URL <http://npo-rac.org>

当日 : 携帯 090-25201852 (中村)

公益信託大成建設自然・歴史環境基金助成事業報告会参加申込書

参加申込書

2017年 月 日

※参加希望箇所に○を記入してください。

フリガナ		RAC	勤務先・所属・学校
代表者氏名		・会 員 ・非会員	
住 所	〒	TEL	
		FAX	
		E-mail	

No.	参加者氏名	報告会参加 無料	交流会参加 ¥7,500円	宿泊 ¥10,734円	16日(木) 草津温泉史跡めぐり 参加費¥500円	費用
例	あかぎ たろう 赤城 太郎	○	○	○	○	¥11,234円
1						
2						
3						
4						
5						

※ご参加の方には、報告会々場、宿泊所の位置、駐車場の案内をお送り致します。

※宿泊は、参加者の相部屋になります。事務局で部屋割を致しますのでご了承下さい。

※なお、宿泊ご希望の方で、木造3階建旅館を希望される方にはご紹介致します。

※「草津温泉史跡めぐり」は、ホテル櫻井から9:30に出発致しますので、玄関前にお集まり下さい。

史跡めぐり当日は、路面の凍結等で足場が悪くないと考えられます。履き物にご注意下さい。